

教育訓練・啓発

従業員一人ひとりが環境に関心を持ち行動しなければ、事業所の環境を維持する事はできません。環境教育を定期的に行い、従業員の環境意識を高めています。

- 緊急事態対応訓練
毎年事業所内の各社で、緊急事態に備えて対応訓練を実施しています。迅速、適確な対応により事業所外への影響を防ぐため、参加者は真剣に取り組んでいます。

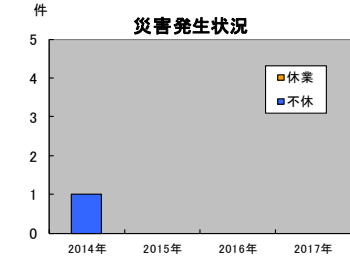


車両からの燃料漏洩対応訓練
2017年11月20日

安全衛生

「クリーン・グリーン&セーフティ彦根」をスローガンに掲げ、従業員一人ひとりが安全と健康の重要性を認識し、安全の確保、健康の促進を目指し活動しています。安全で快適な職場環境づくりを進めています。

- 労働災害の状況
当事業所では、2015年以降、無災害を達成しています。今後も無災害を継続すべく安全対策やリスクアセスメントを推進していきます。



- 防災全体訓練
当サイトでは火災予防に努めていますが、万一の火災発生時の初期消火を迅速に行うために、消防訓練を実施しています。今回は大地震発生後の火災を想定し、サイト全体での訓練を実施しました。
有事の際、慌てずに落ち着いて消火活動、避難ができるように、今後も地道に訓練を実施していきます。



訓練風景
2017年10月10日

- 労働衛生大会
全国労働衛生週間活動の一環として、毎年労働衛生大会を開催しています。2017年は所長、労働組合支部長の挨拶のあと、講師を招いて歯の健康についての講習を行いました。



講習風景
2017年10月2日

社会貢献

当事業所は地域・行政との協調を大切にしています。特に地域の美化活動に、従業員が積極的に参加しています。

- 事業所見学会
毎年、地域住民の代表である自治会役員の方々を当事業所へお招きし、事業所見学会を行っています。2017年は昭和アルミニウム缶(株)の工場を見学頂き、意見交換を行いました。



見学風景
(昭和アルミニウム缶(株)
第二工場)
2017年11月23日

- 淡海エコフオスター事業
淡海エコフオスター事業は、滋賀県主催の道路等の公共スペースの美化を推進する活動です。
毎年4月～10月の間、従業員が県道周辺を清掃しています。延べ154人が参加しました。



事業所周辺の県道にて
2017年6月28日

- 日本赤十字社からの感謝状贈呈
当事業所では、毎年6月に献血を実施しています。昨年は長年の献血への協力に対し、日本赤十字社から彦根事業所に感謝状が贈呈されました。今後も献血を継続していきます。



感謝状
(左 石橋前所長、右 献血担当)

2018年 サイトレポート
2018年8月発行

- レポート対象範囲
彦根事業所(昭和電工パッケージング株式会社を含む)
FSP株式会社は同社との資本提携解消により、2015年度から統計除外。
- 報告対象期間
本文中に「年」と記載された項目は2017年1月～12月を、「年度」と記載された項目は2017年4月～2018年3月を対象としています。

本レポートの内容に関するお問い合わせ
昭和電工株式会社 彦根事業所 管理チーム
〒529-1195 滋賀県彦根市清崎町60番地
TEL 0749-25-1511 FAX 0749-25-2039



2018年
CSRサイトレポート



昭和電工株式会社 彦根事業所

事業所長の挨拶

昭和電工グループでは、「社会貢献企業の実現」を目標にCSR(企業の社会的責任)活動を進めております。当彦根事業所においては、環境負荷の低減に配慮し事業活動を進めており、事業所内ではエコアクション21等によって環境活動を推進しております。その成果は着実に環境負荷低減に繋がっておりますが、まだ満足するまでには至っておりません。今後も活動を通じ、継続的に改善を図っていく所存です。

これからも、事業活動による地球環境への負荷を最小限に抑えるという基本認識のもと、省エネルギー、廃棄物削減等に取り組んでまいります。今後も引き続き、環境に配慮した事業活動を進めていきたいと考えますので、本レポートをお読み頂き、皆様からの率直なご意見、ご質問を頂戴できれば幸いに存じます。

エコアクション21とは？
環境省が定めたガイドラインに基づき、環境への取り組みを行う事業者を、認証するシステムのこと。

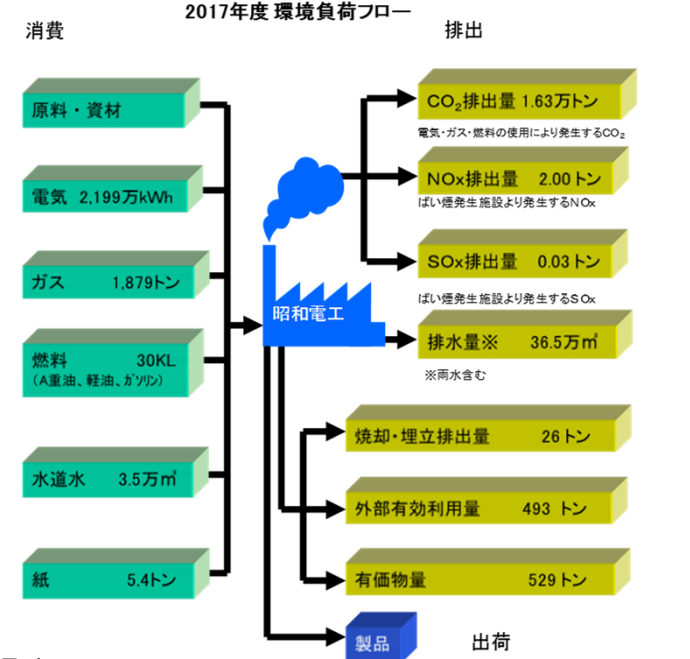
昭和電工株式会社

経営理念
私たちは、社会的に有用かつ安全でお客様の期待に応える製品・サービスの提供により企業価値を高め、株主にご満足いただくと共に、国際社会の一員としての責任を果たし、その健全な発展に貢献します。

- 設立 1939(昭和14)年6月
- 資本金 約1,406億円
- 従業員 連結10,864人 単独3,616人(2017年12月31日現在)
- 本社所在地 東京都港区芝大門1-13-9
- 売上高 2017(平成29)年12月期 連結7,804億円
- 主要製品 石油化学、化学品、無機、エレクトロニクス、アルミニウム 先端電池材料などの各製品

環境負荷の概要

当事業所では、原料・資材・電気・ガス等のエネルギーを消費し、製品を製造しています。生産活動に伴い、排気・排水・廃棄物が排出されます。事業所全体の環境負荷を明確にし、環境活動を積極的に展開していきます。



2018年
昭和電工株式会社
彦根事業所長
江畑 渉

彦根事業所の概要

- 1973(昭和48)年 昭和アルミニウム(株)彦根工場操業開始
- 2001(平成13)年 昭和電工(株)と合併 彦根事業所となる 昭和パネルシステム(株)分社 (後に三洋昭和パネルシステム(株)に社名変更) 昭和電工パッケージング(株)分社
- 2009(平成21)年 事業撤退による押出工場閉鎖
- 2011(平成23)年 研究開発センター設立 (現、パワー半導体プロジェクト)
- 2013(平成25)年 FSP(株)設立 (三洋昭和パネルシステム(株)より社名変更)
- 2015(平成27)年 FSP(株) 昭和電工(株)との資本提携解消

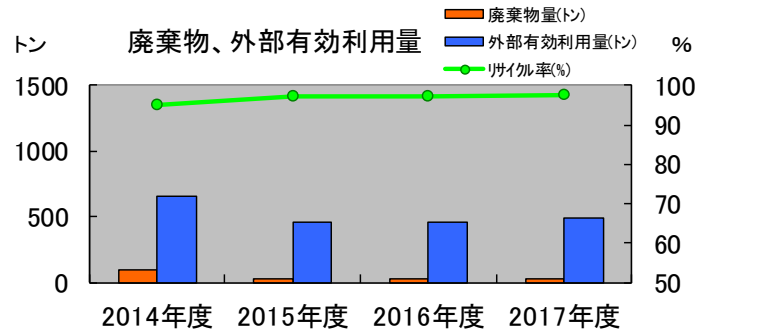
- 敷地面積 225,694 m² (東京ドーム4.8個分)
- 従業員数 288 名(関係会社含む2017年12月31日現在)

環境活動

当事業所では、環境負荷の低減に向けた活動に継続的に取り組んでいます。

■廃棄物削減活動

産業廃棄物削減の為、廃棄物の有価物への転換による排出量の削減、廃棄物のリサイクル化推進による再資源化を行っています。

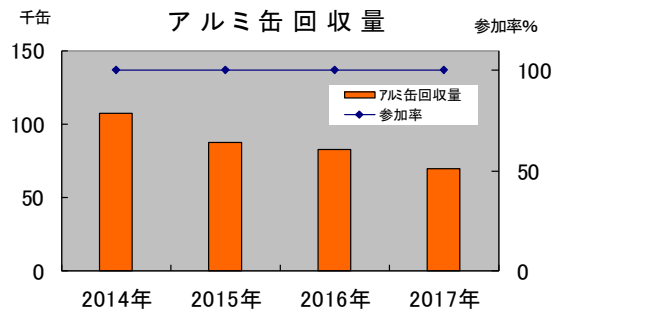


リサイクル率とは？
排出量の内、リサイクル・再利用等で、有効利用される量の割合を示します。

■アルミ缶リサイクル活動

2017年のアルミ缶回収量は、69,356缶と前年を下回りましたが、缶回収活動参加率については、四半期毎の集計で100%を維持しています。

今後も省資源、省エネルギーに貢献する活動を継続していきます。



環境負荷データ

当事業所の事業活動に伴う環境負荷を定期的に監視しています。また、規制基準(彦根市との協定値)より厳しい自主管理基準を設定していますが、自主管理基準値を上回ることはありませんでした。

■水質汚濁負荷量

水質汚濁負荷量は河川水を汚濁する物質の総量です。当事業所からの放流水の水質を定期的に測定し、彦根市に月1回報告しています。また、万一の異常に備え、緊急予備槽を設置し、緊急時に備えています。

BOD: 生物化学的酸素要求量
COD: 化学的酸素要求量
SS: 浮遊物質
T-N: 全窒素
T-P: 全リン

■化学物質、臭気測定結果

年2回敷地境界線の風上1点、風下3点において、化学物質並びに臭気の測定を行っています。悪臭防止法により、臭気指数は敷地境界で13と定められていますが、規制値を上回ることはありませんでした。化学物質については、滋賀県における規制値はありませんが、彦根市との公害防止協定により定期測定および報告を行っています。

表 敷地境界線での化学物質(メチルアルコール、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド)及び臭気測定結果(1回/6ヶ月)

採取日時		測定場所 風上・風下		風向	風速 (m/s)	化学物質 (ppm)			臭気指数
						メチルアルコール	ホルムアルデヒド	アセトアルデヒド	
2017年 4月3日	9:06	①	風下	南西	1-2	0.08	< 0.005	< 0.003	< 10
	9:13	②	風下	南西	1-2	< 0.05	< 0.005	< 0.003	< 10
	9:34	③	風下	南西	1-3	0.06	< 0.005	< 0.003	< 10
	10:10	④	風上	南西	1-3	< 0.05	< 0.005	< 0.003	< 10
2017年 10月17日	11:04	⑤	風下	南西	0-1	< 0.05	< 0.005	< 0.003	13
	11:10	⑥	風下	南西	0-1	< 0.05	< 0.005	0.004	< 10
	11:20	⑦	風下	南西	0-1	< 0.05	< 0.005	< 0.003	< 10
	11:46	⑧	風上	南西	0-1	< 0.05	< 0.005	< 0.003	< 10

化学物質、臭気測定結果は、2017年に測定した結果を記載しています。

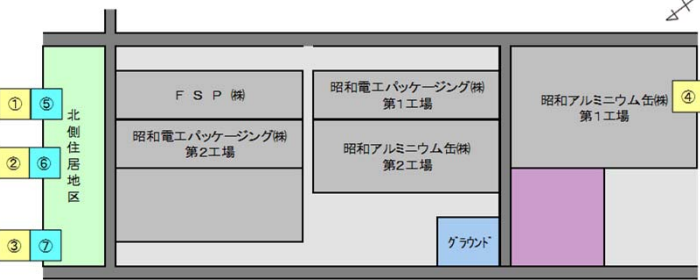
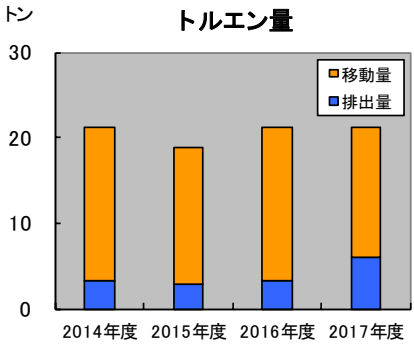


図. 採取位置

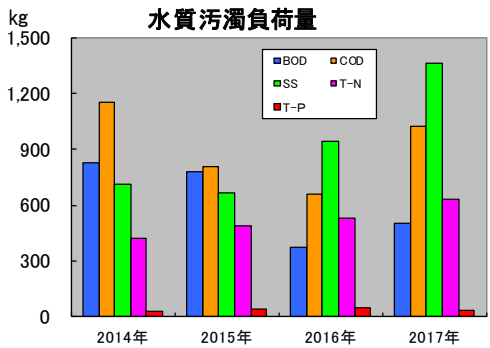
採取位置は、採取時の風向により変化します。

■化学物質管理

化学物質管理についてはPRTR法(化学物質排出把握管理促進法)に基づく届出をしています。2017年度は1種類の化学物質が届出対象でした。トルエンの移動量については、マテリアルリサイクルにて有効利用されます。また排出量については、今後も排ガス処理設備の維持管理に努め、排出量抑制を図ります。



PRTR(化学物質排出移動量届出制度)とは？
有害性のある多種多様な化学物質が、どのような発生源から、どれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを把握・集計し、公表する仕組みです。



臭気指数とは？
人間の嗅覚によって臭いの程度を判定する嗅覚測定法(官能試験法)で、臭いの限界値を測った数値を指数化したもの。臭いのついた空気を、その臭いが感じられなくなるまで薄めた時の希釈倍数(臭気濃度)を求め、その対数を10倍した数値で表す。